

築地書館ニュース 2023

TSUKIJI-SHOKAN News Letter : New Publications & Topics 2022.1—2022.12 : [No.33]

築地書館

〒104-0045 東京都中央区築地 7-4-4-201 TEL 03-3542-3731 FAX 03-3541-5799

●ホームページ =<http://www.tsukiji-shokan.co.jp/> 最新情報満載のホームページもぜひご覧ください。

●新刊案内を中心としたメールマガジン配信ご希望の方は、ホームページよりお申し込みください。

●ツイッターを始めました。小社アカウント @tsukijishokan

萌芽更新が暮らしと文明をつくってきた



樹木の恵みと人間の歴史

石器時代の木道からトトロの森まで

ウィリアム・B・ローガン [著] 屋代通子 [訳]

定価：本体 3200 円+税

生物多様性と持続可能性

の時代に必読

(日本経済新聞・吉川浩満氏評)

古来、人間は木を伐ることで樹木の恵みを引き出し、利用してきた。英国の沼沢地の萌芽更新による枝を使った石器時代の木道、野焼きによって森を育んだ北アメリカの先住民、日本の里山の萌芽林。米国を代表する育樹家が、世界各地を旅し、人の暮らしと文化を支えてきた樹木と人間の伝承を現代によりがえらせる。

地球科学とネイチャーライティングの融合



極限大地

地質学者、人跡未踏のグリーンランドをゆく

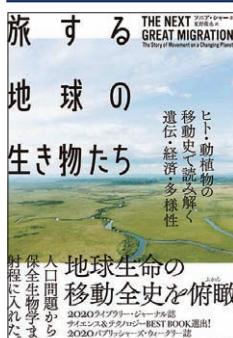
ジョン・パロウズ賞
受賞作品

ウィリアム・グラスリー [著] 小坂恵理 [訳]

定価：本体 2400 円+税

かつて、グリーンランドにはヒマラヤやアルプスに匹敵するほどの山脈が存在していた……。簡単に足を踏み入れることができないグリーンランドで、雄大な自然に圧倒された地質学者が、30億年に及ぶ地球の成り立ちに迫りつつ、5回にわたる調査遠征での体験を綴った貴重な記録。

地球上の生物は、常に移動している！



旅する地球の生き物たち

ヒト・動植物の移動史で読み解く遺伝・経済・多様性

ソニア・シャー [著] 夏野徹也 [訳]

定価：本体 3200 円+税

季節ごとに渡りを繰り返す鳥や昆虫、気候変動で生息地を変える動植物。その移動は地球環境にどのような影響を与えてきたのか。彼らの移動は妨げるべきものなのか。地球規模の生物の移動の過去と未来を、気鋭の科学ジャーナリストが、生物学から分類学、社会科学的視点もふまえた広い視野で解き明かす。

渓流から海岸、深海まで

流されて生きる生き物たちの生存戦略

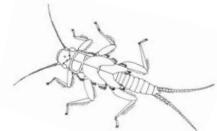
驚きの渓流生態系



吉村真由美 [著]

定価：本体 2400 円+税

渓流の中を覗いてみると、さまざまな生き物たちの多様な暮らしぶりが見えてくる。呼吸のため自ら水流を起こして酸素を作る、流れに乗ってより餌の多い場所に移動する。渓流の生き物たちと、彼らが暮らす渓流の環境について理解が深まる 1 冊。



深海学

深海底希少金属と死んだクジラの教え

深海に対し、自分が如何に
無関心でいたのかに
気づかせてくれる良書
(朝日新聞・石原安野氏評)

ヘレン・スケールズ [著] 林裕美子 [訳]

定価：本体 3000 円+税

深海探索の歴史、深海魚の乱獲、マリンスノーによる炭素固定、多くの国や企業が欲しがる莫大な鉱物資源……。英国の著名な海洋学者が、深海が地球上の生命にとっていかに重要かを、さまざまな研究者の証言や資料・研究をもとに情熱的に語る。



魚の自然誌

光で交信する魚、狩りと体色変化、フグ毒とゾンビ伝説

ヘレン・スケールズ [著] 林裕美子 [訳]

定価：本体 2900 円+税

世界の海に潜って調査する気鋭の海洋学者が、魚にまつわる様々な疑問にこたえる。



貝と文明

螺旋の科学、新薬開発から足糸で織った絹の話まで

ヘレン・スケールズ [著] 林裕美子 [訳]

定価：本体 2700 円+税

古代からの貝と人間との関わり、そして今、海の世界で起こっている事を描き出す。



海鳥と地球と人間

漁業・プラスチック・洋上風発・野ネコ問題と生態系



綿貫豊 [著]

定価：本体 2700 円+税

海と陸の栄養循環を支える海鳥は、この 60 年間で個体数が 3 分の 1 に激減した。その原因是人間の経済活動だ。国内外の海で何が起きているのか、どうすれば多様な生物を保全し未来へつなげるのかを、海洋生態系の一員・海鳥を通して考える。



海岸と人間の歴史

生態系・護岸・感染症

陸地と水圏の「際」である浜の
視点で生態系や環境の問題、
人間の営みなどを眺めるのは
新鮮な試みだ（日本経済新聞）

オーリン・H・ピルキー + J・アンドリュー・G・クーパー [著] 須田有輔 [訳]

定価：本体 2900 円+税

世界の砂浜にみられる浜の環境問題——砂採掘、海岸保全構造物、ごみ、流出油の漂着、細菌汚染などは日本の砂浜にも共通する問題であり、海に囲まれた日本に暮らす人々にとって重要な視点を提起する。

自然とヒトと生き物を、より深く知る



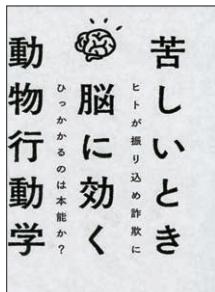
見て・考えて・描く自然探究ノート

ネイチャー・ジャーナリング

ジョン・ミュア・ロウズ [著] 杉本裕代+吉田新一郎 [訳]

定価：本体 2700 円+税

自然の中で、見たり聞いたり拾ったりした事や物を、絵と文章で綴るネイチャー・ジャーナリングの技法を紹介。好奇心と観察力が高まれば、散策がもっと楽しくなる。2016 Foreword INDIES Book Award 金賞受賞。子どもから大人まで自然観察の目のつどころを学べる本。



苦しいとき脳に効く動物行動学

ヒトが振り込め詐欺にひっかかるのは本能か？

人間は助けあって
生き延びてきた動物だった

小林朋道 [著]

定価：本体 1600 円+税

もし、現代社会が 100 人の狩猟採集生活を送る集団だったなら、振り込め詐欺にひっかかる人は生き残っていないだろう。著者が苦しむ「生きにくさ」の正体を、動物行動学の視点から読み解き、生き延びるための道を示唆する。



先生、モモンガがお尻でフクロウを脅しています？

【鳥取環境大学】の森の人間動物行動学

シリーズ累計 13 万部
2023 年 1 月、最新刊発売

小林朋道 [著]

定価：本体 1600 円+税

コウモリは先生の手に包まれていないと食事をせず、イヌも魚もアカハライモリもワクワクし、キジバトと先生は鳴き声で通じあう。自然豊かな大学を舞台に起こる動物と人間をめぐる事件の数々を人間動物行動学の視点で描いた全 9 章。



先生、巨大コウモリが廊下を飛んでいます！

【鳥取環境大学】の森の人間動物行動学

「先生！シリーズ」は
ここからはじまった！

小林朋道 [著]

定価：本体 1600 円+税

本日も、大学は動物事件でぎやかなり！ 動物たちと人間をめぐる珍事件を人間動物行動学の視点で描くほのぼのドタバタ騒動記。あなたの“脳のクセ”もわかります。

やりがいと稼ぎが両立する農業とは



オーガニック

有機農法、自然食ビジネス、認証制度から産直市場まで

人類の種としての存続と
発展の道を探る
(共同通信、小島庸平氏評)

ロビン・オサリバン [著] 浜本隆三+藤原崇+星野玲奈 [訳]
定価：本体 3600 円+税

オーガニック運動はいったいどのようにして始まり、人々に認知され、今のような巨大市場へと成長していったのか。歴史学者が膨大な数の資料にあたり、米国の 70 年に及ぶ歴史、文化、科学、経済といった幅広い切り口とフラットな視点で読み解く。



土が変わるとお腹も変わる

土壤微生物と有機農業

吉田太郎 [著]
定価：本体 2000 円+税

日本でも生物多様性の減少と気候危機に対応した農政転換が起こっている。本書は、国内外の最新研究を紹介しながら、土壤と微生物、食べ物、そして気候変動との深い関係性を根底から問いかける。



コロナ後の食と農

腸活・菜園・有機給食

吉田太郎 [著]
定価：本体 2000 円+税

世界の潮流に逆行する食品安全政策に対して、パンデミックと自然生態系、腸活と食べ物との深いつながりから警鐘を鳴らしつつ、日本の有機給食の優良事例から一人ひとりが日々実践できる問題解決への道筋を示す。



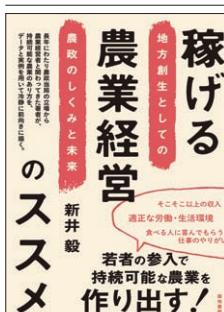
83歳、脱サラ農家の終農術

おいしく・はつらつ・愉快に生きる

杉山経昌 [著]
定価：本体 1800 円+税

累計 10 万部突破、
『農で起業する！』著者の最新刊

海外からの団体ツアーラートにも組み込まれた観光果樹園の経営をやめたあと、家庭菜園と貯蓄と年金でどう暮らすか。後継者への引き継ぎはどうするか。理論派脱サラ百姓が、リタイアメント・ライフを楽しく愉快に健康におくるコツを語る。



稼げる農業経営のススメ

地方創生としての農政のしくみと未来

新井毅 [著]
定価：本体 1800 円+税

若者の参入で持続可能な農業を作り出す！

長年にわたり農政当局の立場から農業経営者と関わってきた著者が、持続可能な農業のあり方を、データと実例を用いて冷静に前向きに描く。

専業農家の所得は
全世界平均の 1.5 倍

生き物と土と微生物の世界

菌根の世界

菌と植物のきってもきれない関係

齋藤雅典 [編著]

定価：本体 2400 円+税

菌根菌が養水分を根に渡し、植物からは糖類を受けとる。植物は菌根菌なしでは生きられない。

菌
根
の
世
界

齋藤雅典・
著者

土壤微生物の世界

人に話したくなる 土壤微生物の世界

食と健康から洞窟、温泉、宇宙まで

染谷孝 [著]

定価：本体 1800 円+税

身近にいるのに意外と知らない、土の中の微生物のすべてがわかる。

土
牛
・
微
生
物

文明の進退をめぐらす土の話

土・牛・微生物

文明の衰退を食い止める土の話

デイビッド・モントゴメリー [著]

片岡夏実 [訳]

定価：本体 2700 円+税

土は微生物と植物の根が耕している。土の健康と新しい農業をめぐる物語。

土と内臓

微生物がつくる世界

16刷

ベストセラー

デイビッド・モントゴメリー+

アン・ピクレー [著]

片岡夏実 [訳]

定価：本体 2700 円+税

微生物理解によって、食べ物、医療、私達自身の体への見方が変わる本。

虫から死亡推定時刻はわかるのか？

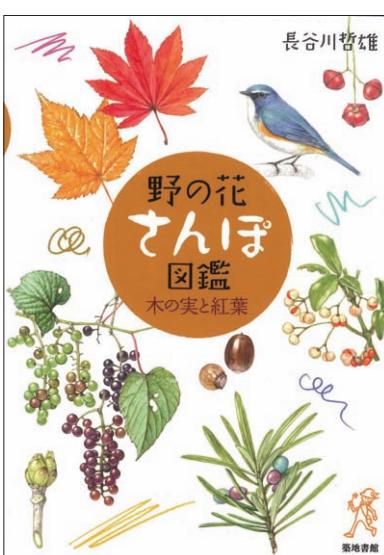
法昆虫学の話

事件解決のカギは
虫が握っている！?

三枝聖 [著]

定価：本体 1500 円+税

虫は死体の第一発見者だ。いつ、どこで、事件が起きたのか、いつから、そこに、死体があったのか。死体についている虫の種類、成長段階、個体数——昆虫たちの証言に耳を傾け、声なき死体の情報にたどりつく。



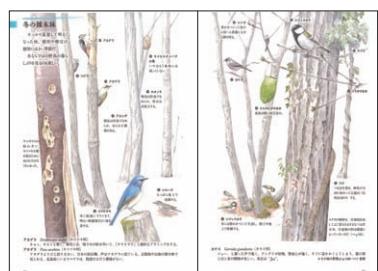
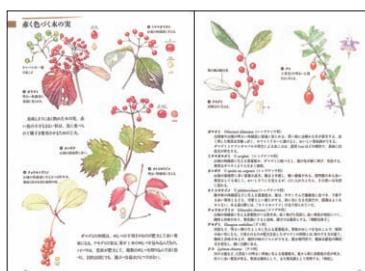
野の花さんぽ図鑑 木の実と紅葉

正月、クリスマスの
植物も紹介

長谷川哲雄 [著]

定価：本体 2000 円+税

樹木を中心に、秋から初春までの植物の姿を、繊細で美しい植物画で紹介。250種以上の植物に加え、野鳥も収録！「モミジとカエデはどう違う？」などのコラムを充実。ますますさんぽが楽しくなる、新たな発見がいっぱいの1冊。



地球の歴史から宇宙まで



採集と見分け方がバツチリわかる アンモナイト図鑑

化石界のレジェンド、
堀田良幸氏も
大絶賛!

守山容正 [著]
定価: 本体 2700 円+税

アンモナイト王国ニッポンの超レア化石をカラーで紹介!
写真とともに科ごとのアンモナイトの同定ポイントを詳しく説明。
これを読めばアンモナイトの見分け方がわかるようになる。

巻末には国内外の関連文献を掲載。



太陽の支配

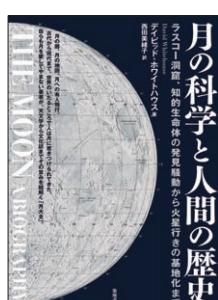
神の追放、ゆがむ磁場からうつ病まで

『星ナビ』『天文ガイド』
で絶賛!

デイビッド・ホワイトハウス [著] 西田美緒子 [訳]

定価: 本体 3200 円+税

人びとが崇め、畏れ、探究してきた太陽。NASA で任務に就いたこともある、小惑星ホワイトハウスにその名をつけられた英国を代表する科学ライターである著者が、神話、民俗信仰から最先端の天文学まで、人類を支配してきた太陽を余す所なく描く。



月の科学と人間の歴史

ラスコー洞窟、知的生命体の発見騒動から火星行きの基地化まで

デイビッド・ホワイトハウス [著] 西田美緒子 [訳]

定価: 本体 3400 円+税

地球に最も近い天体である月は、古代エジプト、イスラム、ルネサンスから近現代の科学者まで、無数の人びとを魅了し、科学研究を動機付けてきた。先史時代から現代までの、神話から科学研究までの、人間と月との関係を描いた異色の月大全。



岩石と文明 上・下

25 の岩石に秘められた地球の歴史

ドナルド・R・プロセロ [著] 佐野弘好 [訳]

各定価: 本体 2400 円+税

岩石や地質現象が秘めている歴史的・文化的背景、それらが人間の地球に対する考え方や暮らしをどう変えたのか。主な岩石・有名な露頭・重要な地質現象に焦点をあてて解説する。

地球 46 億年の歴史を、
人間くさい視点で
読めるのが新鮮 (サライ)

庭をもっと楽しもう



庭仕事の真髓

老い・病・トラウマ・孤独を癒す庭

スー・スチュアート・スミス [著] 和田佐規子 [訳]

定価：本体 3200 円+税

人はなぜ土に触れると癒されるのか。庭仕事は人の心にどのような働きかけをするのか。世界的ガーデンデザイナーを夫にもつ精神科医が、さまざまな研究や実例をもとに、庭仕事で自分を取り戻した人びとの物語を描いた全英ベストセラー。

日本経済新聞、読売新聞、共同通信、日経ビジネス、サライなどに書評掲載
各紙誌大絶賛



鳥・虫・草木と楽しむ
オーガニック植木屋の
剪定術

ひきちガーデンサービス　曳地トシ・曳地義治

自分の庭すぐできる、
庭木92種の手入れ方法

無農薬・無化学肥料

除草剤なし！

生き物の生きかたのある庭をつくる。

オーガニック植木屋からです。
これまでなかった、庭木の新しい手入れ方法
教えます！

せんてい オーガニック植木屋の剪定術

あなたの庭がスッキリ！
庭木 92 種の手入れ方法

ひきちガーデンサービス（曳地トシ+曳地義治）[著]

定価：本体 2400 円+税

オーガニック植木屋ならではの、これまでになかった、庭木との新しいつきあい方教えます！ 樹木の特徴をいかしつつ、無農薬・無化学肥料・除草剤を使わない、病虫害にかかりにくい手入れ法を解説。



二十四節氣で楽しむ庭仕事

庭仕事の楽しみが
倍加するヒントが
いっぱい

ひきちガーデンサービス（曳地トシ+曳地義治）[著]

定価：本体 1800 円+税

オーガニック植木屋が、ひょんなことから俳句に出会った。

十七音を通して見ると、これまで見慣れていた庭の生きもの、庭仕事、暮らし、自然が、新たな輝きをもって現れてくる。

子どもの学びの力を引き出す



一人ひとりを大切にする学校

生徒・教師・保護者・地域がつくる学びの場

デニス・リトキー [著] 杉本智昭+谷田美尾+吉田新一郎 [訳]

定価：本体 2400 円+税

勉強を苦手とする生徒が自ら学び、卒業後も成長し続けられるようになる学校の理念とはどのようなものなのか？ アメリカの小規模公立学校でありながら、全米および世界の 100 校ものモデルとなった MET の共同創設者がその理念と実践を語る。



遊びが学びに
欠かせないわけ
自立した学び手を育てる

ピーター・グレイ [著] 吉田新一郎 [訳]
定価：本体 2400 円+税

異年齢の子どもたちの集団での遊びが、学習能力を高めるのはなぜか。生涯にわたり、良き学び手でいられる知恵が詰まった本。



メグさんの女の子・男の子
からだ BOOK

メグ・ヒックリング [著]
キム・ラ・フェイブ [絵] 三輪妙子 [訳]
定価：本体 1600 円+税

からだと性についての子どもからの質問に
上手に正しく答えるための本。

創立 70 周年、これからも魅力あふれる本づくりを目指して



日本人はどのように森をつくってきたのか

コンラッド・タットマン [著]

熊崎実 [訳]

定価：本体 2900 円+税

日本人・日本社会と森との 1200 年におよぶ関係を明らかにした名著。



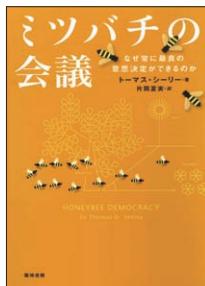
狼の群れと暮らした男

ショーン・エリス+ペニー・ジューノ [著]

小牟田康彦 [訳]

定価：本体 2400 円+税

野生狼の群れに受け入れられ、共棲を成し遂げた現代人の希有な記録。



ミツバチの会議

なぜ常に最良の意思決定ができるのか

トマス・シリー [著] 片岡夏実 [訳]

定価：本体 2800 円+税

新しい巣をどこにするか。民主的な意思決定プロセスを通して行ない、ミツバチたちは最良の巣を選び出す。



反★進化論講座

空飛ぶスパゲッティ・モンスターの福音書

ボビー・ヘンダーソン [著] 片岡夏実 [訳]

定価：本体 1800 円+税

怪しい宗教や、トンデモ科学にだまされない能力が笑いながら身につく。

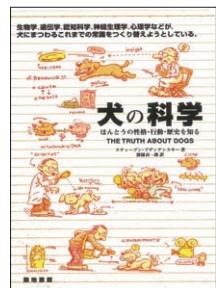


コケの自然誌

ロビン・W・キマラー [著] 三木直子 [訳]

定価：本体 2400 円+税

コケと自然から学ぶべき「人生哲学」がちりばめられた、ネイチャーライティングの傑作。



犬の科学

ほんとうの性格・行動・歴史を知る

スティーブン・ブディアンスキー [著]

渡植貞一郎 [訳]

定価：本体 2400 円+税

新時代のサイエンスライターが、犬の世界をわかりやすく解説。



野の花さんぽ図鑑

長谷川哲雄 [著]

定価：本体 2400 円+税

写真図鑑では表現できない野の花の表情を、美しい植物画で紹介。野の花と、昆虫を二十四節気で解説。



炭坑美人

闇を灯す女たち

田嶋雅巳 [著]

定価：本体 2500 円+税

苛酷な労働、極限の生活を乗り越えてきたからこそその言葉と顔がある。46 人の元炭坑婦が物語る人生。

これから出る本 2023 年 1 ~ 3 月刊行予定（仮タイトル、予価〈税別〉です）

『先生、ヒキガエルが目移りしてダンゴムシを食べられません！』 小林朋道 [著] 定価：本体 1600 円+税

『鳥と人間の歴史』 ティム・バークヘッド [著] 黒沢令子 [訳] 予価：本体 3000 円+税

『日本の森のフォレスター』 鈴木春彦 [著] 予価：本体 2000 円+税

《ご注文いただくにあたって》

※発送料は 1 回の発送につき何冊でも 300 円です。※発送方法は郵送、またはメール便です。
(合計 6000 円を超えるご注文の場合は代引での発送となります。代引手数料は弊社負担です。)

年末、年始のご挨拶代わりに皆様にお送りしております築地書館ニュース。今号は、2022 年の新刊、重版、話題書を中心にご案内いたしました。紙幅の都合でご紹介できない本がたくさんございます。既刊書、新刊書の詳しい内容を掲載しております小社ホームページもあわせてご覧ください。

築地書館社員一同